

ほろ酔いインタビュー●佐佐木幸綱父遊録●

2016・12・23 於・佐佐木邸

〈第12回〉一九六〇年代のシンポジウムの時代から、

『夏の鏡』のパワー、そして青春の終り

佐佐木幸綱+高山邦男・大野道夫・黒岩剛仁・加古陽・奥田亡羊+佐佐木頼綱・佐佐木薫子

▽シンポジウムの時代

高山 第十二回の「ほろ酔いインタビュー」

を始めます。前回と出席者は同じですが、

佐佐木頼綱さん、奥様の薫子さんにも参加していただきます。年表は大口玲子さん作成のものと谷岡亜紀さん作成のものを参考

にしました。テープ起こしは吉田瞳さんで

ンポジウム東京」に参加とあります。佐佐木幸綱、清水昶、中上健次、立松和平、福島泰樹、三枝昂之、ジャンルを超えて錚々

たるメンバーが参加しています。

黒岩 短歌のシンポジウムなのにね。

奥田 エエ。この時期、みんなが話し合っていたテーマは何だったのですか。

まず、奥田さんからシンポジウムの話があるそうです。

奥田 大口玲子さん作成の「佐佐木幸綱略年譜」によれば、朋子さんと結婚された一九七六年の十月、「一九七六現代短歌シ